

令和6年4月11日・12日

保護者の皆様

多摩市立瓜生小学校
校長 池田 泰章

令和6年度 瓜生小学校の教育について

お子様のご入学、進級、誠におめでとうございます。

保護者の皆様には、日頃よりのご支援・ご協力に心より感謝いたします。今後も安心・安全な教育活動を継続できますよう、教職員一同鋭意努力してまいります。

本校では、以下のような「教育目標」「目指す児童像」「目指す学校像」「目指す教師像」を掲げ、その実現を目指しております。



《教育目標》

◎「すすんで学ぶ子」(問題解決力の育成)

学んだ知識を生きる知恵として主体的に活用し、問題解決に取り組む児童

○「思いやりのある子」(人間関係調整力の育成)

優しさや寛容の心を持ち、互いの人権を尊重する児童

○「きたえる子」(実践力の育成)

健康な心と体を持ち、挑戦し、やり遂げる児童

《目指す児童像》

○主体的に学んだ知識を生きる知恵として活用する児童

○優しさや寛容の心を持ち、互いの人権を尊重する児童

○健康な心と体を持ち、粘り強くやり遂げる児童

《目指す学校像》

○ともに励み、ともに伸びることのできる「学ぶ喜びのある学校」

《目指す教師像》

○子供の小さな成長を認め励ますことのできる教師

○分かる喜び、考える喜びのある授業を実践する教師

○人と関わる喜びのある活動を創造する教師

○粘り強く児童に寄り添い、励ますことのできる教師

本校は『コミュニティ・スクール』となり、4年目となりました。地域社会全体との関わりの中で、未来を切り拓く子供たちのために、家庭、地域・社会、学校が一体となって、健全育成に取り組んでまいります。

今後も、子供たちに対して、成就感・連帯感を味わわせる教育活動を実践してまいります。保護者の皆様には、ご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



瓜生小 HP

《令和6年度 学校経営方針（一部）》

- 教職員が一丸となって、全力で子供の「協育」にあたり、共に生き、共に学び、一人一人の子供の輝きが見える学校をつくっていきます。
- 人権教育を基盤として、「ウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好で満たされている状態）」の実現に向けて、児童の自律的な学習・生活態度の育成を目指し、学校・学年・学級経営を充実させ、児童自らがよりよく生きる力を伸ばす教育活動を展開します。
- 毎日、笑って、楽しく、幸せになれる小学校「笑楽幸（しょうがっこう）」を創っていきます。
- 瓜生太鼓は、本校の「特色ある教育」と位置付けてまいります。
- 全教職員が心ひとつに率先垂範（先頭に立って模範を示す）で、日常の指導にあたります。
- 子供を「主語」として、教師は、子供が最高の学びを得るために、子供が何を望んで、どう行動しようとしているのかを把握し、それを支援してきます。
- 一人1台タブレット端末等のICTを効果的に活用し、全ての児童の可能性を引き出し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。
- 授業のねらいに即して「何を学んだか」「何ができるようになったか」「どのように学んだか」についての振り返りを通して、主体的に学ぶ態度を育成します。
- 自分の大切さと他の人の大切さを認め、人のために行動できる力を育成します。
- 誰一人取り残さない教育の実現に向け、人権・生命尊重を基盤とした、いじめ・不登校等の生活指導上の諸課題に対する組織的な対応の徹底と充実を図ります。
- 学習指導要領に示されている目標・内容に準拠した指導の時間を確実に確保します。
- 教科担任制を活用し、教員の授業力向上を図ります。
- 総合的な学習の時間を探究活動中心の学習となるように継続します。

教育目標達成のための基本方針

（1）「すすんで学ぶ子」を育てるために

- 論理的に考え、課題を発見し、解決する力を育成します。
- 授業を充実（「めあてと見通し」「自力解決と学び合い」「まとめと振り返り」）します。
- 基礎・基本の定着を徹底（東京ベーシック・ドリル診断シートの活用）します。
- 読書活動を充実（読書週間、朝読書、読み聞かせ、各教科と関連させた計画的指導）します。
- 個に応じた指導を充実（ICTの活用、特別支援教室の充実）します。
- 授業時間を確保（行事等の準備や指導時間の改善）します。

（2）「思いやりのある子」を育てるために

- 生活指導の重点目標「元気のよい挨拶」「心をこめた言葉遣い」について指導します。
- 子供同士の温かい人間関係と教師と児童の信頼関係をつくる指導をしていきます。
- いじめや暴力を許さない意識を向上させます。
- ふれあい月間の取り組みを充実（6月、11月、2月）させます。

（3）「きたえる子」を育てるために

- 自分の心と体の健康や体力に関心をもち、主体的に活動するための取り組みを推進します。
- 粘り強く主体的に取り組む児童を育成する取り組みを推進します。
- 安全で安心できる学校を創る取り組みを推進します。

（4）保護者・地域・学校が、共に子供を育てるために

- コミュニティ・スクールを充実していきます。
- 保護者や地域の方の授業への参加を図っていきます。
- 情報の発信と共有（個人面談、保護者会、学校だより、学年便り、HP、学校公開）を大切にしていきます。
- 働き方改革（校務等の改善、共同事務室の充実）を推進していきます。